

総合情報  
センターだより

## CONTENTS

## アニュアル・レポート2002年度版 特別号

## 表紙 巻頭言

## 1 情報システム部門

2-4 キャンパスの情報基盤が発展  
しています

5 情報リテラシー科目の高度化

6-7 学生の「学びと成長」をささえる  
総合情報センター

## 2 学術情報部門

8 データベースの導入状況

9 データベース利用状況

10 データベース・ガイダンス実施状況

11 本学学術情報施設の客観的状況

12 メディアセンターに自動化書庫を導入します!  
衣笠図書館リニューアルしました!

## アニュアル・レポート特別号の発行にあたって

総合情報センターでは、毎年アニュアル・レポートを発行し、1年間の業務の内容とその到達点、各種設備の利用状況ならびにその統計結果について、他大学との比較を含めてまとめています。

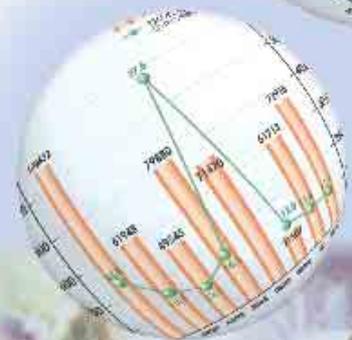
2002年度は、「学生の学びと成長を発展させるIT化の実現」に向けてさまざまな取り組みを行いました。

全国トップレベルに整備された情報環境について学習、教育・研究を進めるための基盤として活用できるよう、パソコンなどのハードウェアだけでなく、データベースの拡充などコンテンツの充実にも注力してきました。

すべての一般教室にはプラズマディスプレイが配置され、学生施設や全教室での無線LANの整備など、他大学に例を見ないIT環境が構築されており、実際にこうした設備を利用した授業が増えている状況を実感できるようになっています。

今年は、1999年全学協議会確認の教学総括の年であり、今後4年間の立命館大学の方向性を策定する全学協議会が開催される重要な年に当たります。一部統計については主要私立大学の状況も付加して、より客観的な状況の把握に努めました。総合情報センターが提供する学術情報サービスや情報システムが、今後一層有効に活用されることを願ってまえがきにかえます。

立命館大学総合情報センター長 谷口 吉弘



# キャンパスの情報基盤が発展しています



## プラズマディスプレイの活用

全国トップの教室環境

2001年からの第4期情報基盤整備では、さまざまな教材を利用した講義が可能なマルチメディア対応教室を整備しました。2001年9月には、37インチプラズマディスプレイを衣笠の6教室(52台)、BKCの8教室(57台)に導入し、これまでのテレビより大型で鮮明な映像が見られるようになりました。2003年4月には、衣笠・BKCの教室に合計726台の50インチプラズマディスプレイを導入しました。これにより、すべての教室でプラズマディスプレイ(一部、高輝度の液晶プロジェクター)が利用でき、マルチメディアを利用した講義に活用されています。

参考

### プラズマディスプレイ利用状況(2003年前期教員・学生アンケートより)

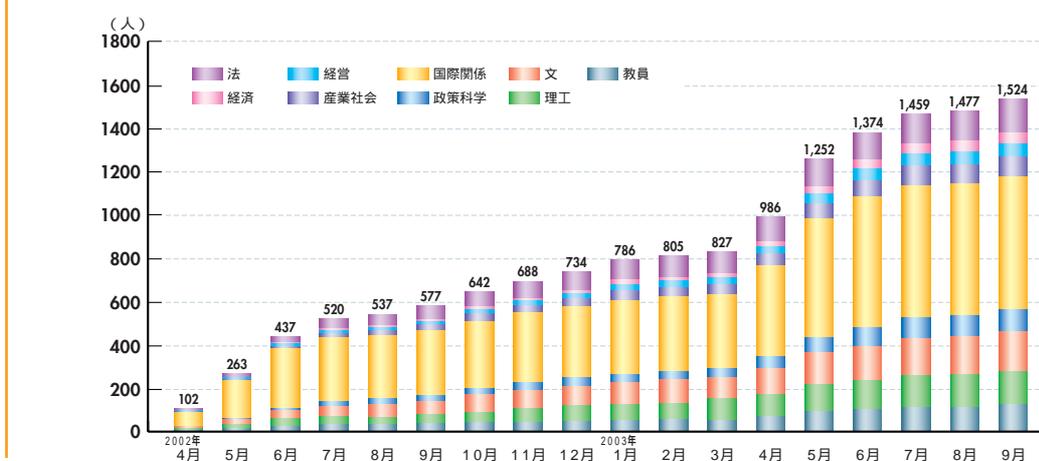
アンケート回答教員の半数がほぼ毎日利用し、8割を超える教員が何らかの形で利用している実態があります。パワーポイントでのレジュメや、ビデオ・DVDなどの視聴覚教材、教材提示装置を映す形態での利用が大半を占めています。また、学生からは提示される教材がはっきり見えるようになり、これまでの講義と比較して高い効果を感じていることがわかりました。

## 無線LAN網の活用

いつでもどこでもネットワーク接続

無線LANは、無線LAN機能を装備したパソコンであれば学内のアクセスポイントを利用してブロードバンドに匹敵するスピードでインターネットを利用できるものです。2002年4月に衣笠・BKCの学生ラウンジなどの学生の滞留場所に無線LANを導入しました。2003年4月には、その範囲を全キャンパスに広げ、すべての教室で無線LANが利用できます。これにより、プラズマディスプレイと無線LANを活用することにより、リアルタイムの情報を生かしながら講義が進められるなど、さらに臨場感あふれる講義が可能となりました。

### 無線LANユーザー数の推移



参考

### 無線LAN利用状況(2003年前期教員・学生アンケートより)

無線LANの全学整備については、6割以上の学生が整備されたことは知っています。利用している学生は授業以外での利用が目立っています。一方、知っていても利用しないという学生が8割を占めています。理由としてはパソコンが重く、故障の心配があるため大学には持っていないという意見が大半を占めています。

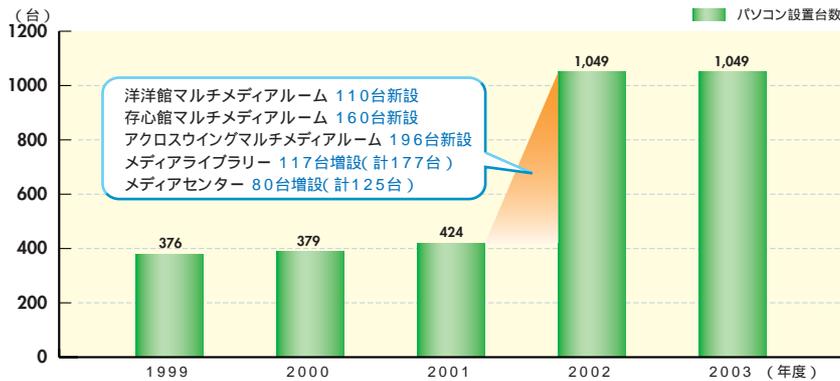
## サテライト教室の拡充

これまで、衣笠およびBKCにそれぞれ2教室、計4教室であったサテライト教室は、サテライト講義の開講数の増加に対応し、新たにそれぞれ3教室ずつ整備し、衣笠・BKCそれぞれ5教室、計10教室に拡充されました。また、2003年度より立命館アカデミア@大阪にサテライト教室を4教室整備しました。その結果、サテライト教室では衣笠・BKC・大阪の各拠点を結んだ遠隔講義が可能となり、今年度は、経営学研究科や言語教育情報研究科で26科目の大学院講義が遠隔講義として展開されています。また、APUや付属校のサテライト教室をはじめ、海外の大学などと距離にとらわれない講義が展開されています。

### 自習環境の拡充

学生が授業以外でもパソコンを利用して調査・レポート作成などの自習ができる環境を整備しています。第4期情報基盤整備では自習用パソコンを大幅に増設し、両キャンパス合わせて1,000台を越える環境を整備しました。年間延べ150万人を超える学生がオープンパソコンルームを利用しています。

オープンパソコンルームパソコン設置台数の推移

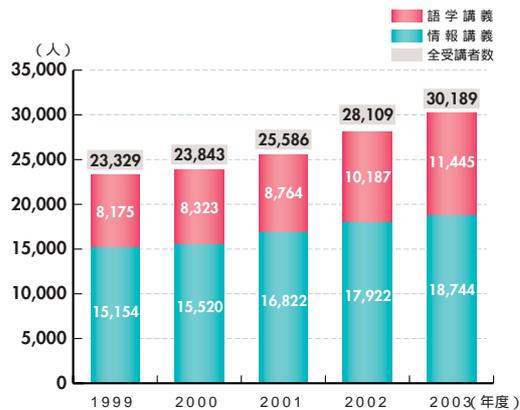


### のべ30,189人が情報教室での講義を受講!

情報教室を利用した講義の受講者数

情報教室を利用する講義数・受講者数は年々増加しています。基礎的情報スキルの底上げを図る「情報リテラシー」講義をはじめ、パソコンを活用した語学の講義などで、全学生の47%が情報教室を利用した講義を受講しています。

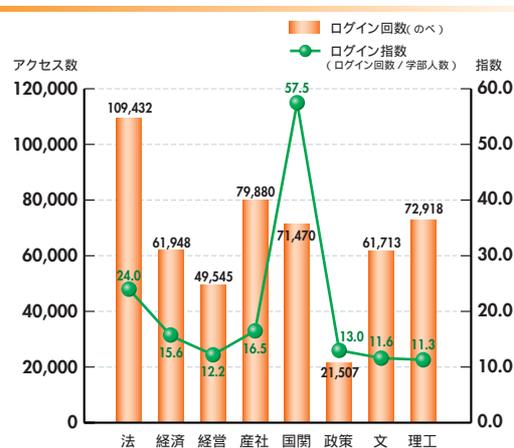
情報教室を利用した講義の受講登録者数の推移



### コースツールの全学導入と活用

2002年4月より全ての科目のシラバスをオンライン化するとともに、電子掲示板やオンラインレジュメ、小テスト等を手軽に活用できるコースツールを全学で導入しています。

また、2004年度より新たなコースツールを導入する予定で現在開発を進めています。



## マルチメディアコンテンツ作成環境の整備・支援

衣笠・BKCの両キャンパスにデジタル教材作成室を整備し、動画などのデジタル教材を編集・作成できる機器を設置し、講義でのマルチメディアコンテンツ作成に利用されています。

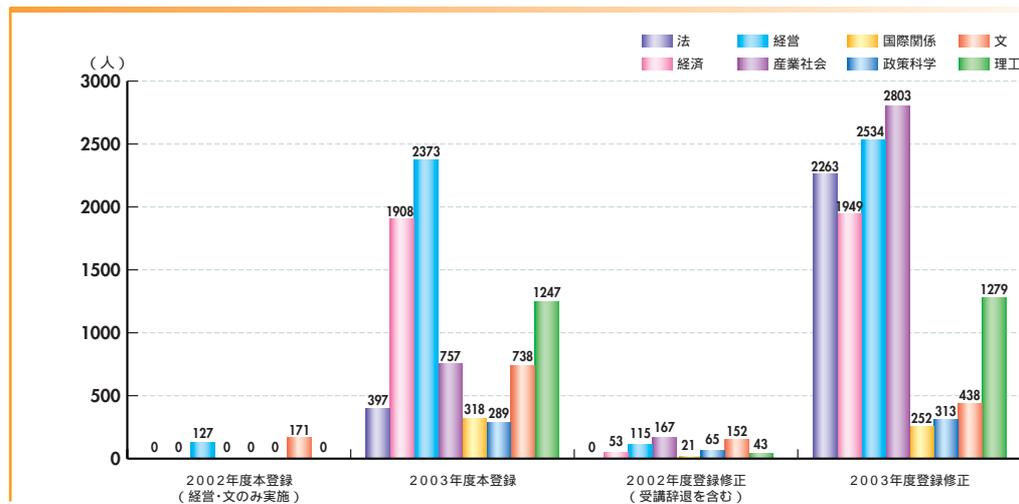
そのほかにも、約12,000タイトルの視聴覚資料や視聴覚機器の貸し出しを行っており、語学教材のDVDや持ち運び可能なプロジェクターやノートパソコンなどの機器の利用が可能です。また、メディアラボではAV機器を設置し、各種放送波の録画やメディアの変換などができるよう整備しています。

## 学生サービスの充実

2002年度よりWebやメールを活用して各種情報を提供し、学生サービスの充実を図っています。受講登録・登録修正・受講辞退の結果に基づいた個人別時間割や休講・補講情報などもメール配信しています。また、卒業可否判定をWebに掲載するなどさまざまな形で充実を図っています。

### ● オンラインでの受講登録・受講登録統一修正・受講辞退

受講登録・登録修正・受講辞退については、これまでOCR用紙の提出によって行われていましたが、2002年度より学生がWebで各自登録ができるサービスを開始しました。これまで、指定日に大学に来て登録用紙の提出が必要であったのに対して期間中であれば自宅からでも登録が可能となり、就職活動や帰省などで大学に来られなくてもオンラインでの登録が可能となっています。受講登録においては、特に経済・経営学部で半数以上がオンラインで受講登録をしています。また、オンラインで本登録した学生の6割近くが自宅など学外から登録しています。



### ● メールによる受講登録時間割・試験時間割の送信

学生が受講登録した結果については、個人別時間割の形式でメール送信し、時間割は前期本登録と後期受講登録統一修正後に送信しています。また各学生の受講科目にあわせた試験時間割を前期・後期に送信しています。これにより学生は、掲示板で自分の時間割を確認する必要がなくなり、利便性が向上しました。

参考

WEBを活用した学生サービス (2003年前期教員・学生アンケートより)

オンライン受講登録については、9割以上の学生が知っているが、実際に登録した学生はそのうち50%となっています。また、2002年度より全科目のオンラインシラバスを公開しています。受講登録においてオンラインシラバスを利用した学生は約6割となっています。しかしながら、講義概要(冊子)を重点的に利用した学生は7割以上に上り、講義概要がなくなると不便になるという意見がほぼ同数ありました。

## 情報リテラシー科目の高度化

### 情報リテラシー講義の導入にあたって

衣笠キャンパスでは、1999年度から情報教育委員会(衣笠)のもと「初歩的情報リテラシー講習」を実施してきました。これは新入生が入学後1~2ヶ月に情報教育の基礎部分として、パソコンの基本的な操作や情報倫理などを集中的に学ぶもので、学生の基礎的情報スキルを大きく底上げするものです。2000年度からはこの講習を前期セメスターの正課とし、講師を外部機関から迎えるなど、さらに高度化して実施しています。

### 2003年度からの新展開

昨年まで、「図書館の使い方」や「データベースの使い方」といった資料収集に関するガイダンスを、新入生ガイダンスの一部もしくは図書館ガイダンスで行って来ました。

2003年度からは、「資料収集法」やデータベース等の「資料検索法」といった学術情報を活用できるスキルは、ゼミ発表や論文作成において大変重要であるため、正課として位置付け、情報リテラシー科目の中で取り上げることとなりました。

### 講義の内容

図書館にある資料や、本学で提供しているデータベースの利用方法に関する講義を、1コマ~3コマでおこないました。

本学の所蔵を調べられるデータベース-RUNNERSを中心に、NACSIS-WebCAT(他大学の所蔵を調べられるデータベース)、新聞データベースの講習をおこない、それに加えて図書館ツアーもおこない、実際にゼミや演習で利用できる図書資料の館外貸出の実習も行っています。

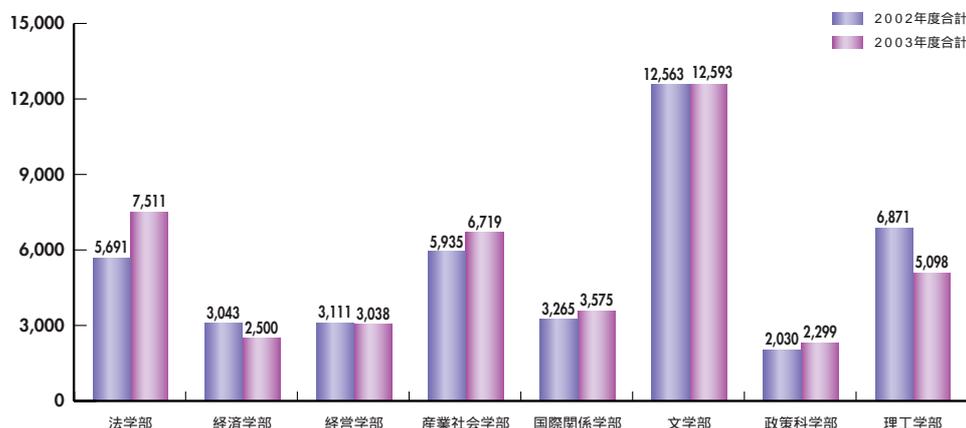
各学部の特徴点は以下のとおりです。

学 部	開講コマ数	特徴点	実施データベース
法	3コマ	他大学資料の検索や新聞記事検索の説明と実習をおこないました。	RUNNERS・NACSIS-WebCAT、日経テレコン21
経済	1コマ	BKCキャンパスの学術情報施設の利用案内と蔵書検索、新聞記事検索について、説明と実習をおこないました。	図書館利用ガイダンス・RUNNERS・朝日新聞DNA
経営	1コマ	BKCキャンパスの学術情報施設の利用案内と蔵書検索、新聞記事検索について、説明と実習をおこないました。	図書館利用ガイダンス・RUNNERS・朝日新聞DNA
産社	3コマ	他大学資料の検索や新聞記事検索に加え、雑誌記事検索や要旨・目次情報の検索について、説明と実習をおこないました。	RUNNERS・NACSIS-WebCAT・NACSIS-IR・朝日新聞DNA・日経テレコン21・和書コンテンツデータベース・日経BP・JapanKnowledge
国際	3コマ	他大学資料の検索や新聞記事検索に加え、洋論文の記事検索について、説明と実習をおこないました。	RUNNERS・NACSIS-WebCAT・NACSIS-IR・朝日新聞DNA・日経テレコン21・ProQuest・AcademicUniverse
政策	1コマ	教員を中心に講習をおこないました。	RUNNERS・NACSIS-WebCAT・日経テレコン21
文	1コマ	他大学資料の検索や新聞記事検索の説明と実習をおこないました。	RUNNERS・NACSIS-WebCAT・日経テレコン21
理工	1コマ	BKCキャンパスの学術情報施設の利用案内と蔵書検索、自然科学系のデータベースを使った文献検索について、説明と実習をおこないました。	図書館利用ガイダンス・RUNNERS・Dialog Select・JOISEasy

### 1回生の図書館利用状況について

1回生の利用状況について、4月から7月までの利用を、昨年度と比較したのが以下の表です。

学部別貸出冊数推移(1回生のみ)



法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部において、1人当たり貸出冊数が増加しています。法学部では1820冊(昨年度比31%)、産業社会学部では784冊(昨年度比13%)増加しています。

# 総合情報センター

学生の「学びと成長」をささえる

## RAINBOW STAFFの活躍の場がひろがっています!

RAINBOW STAFFは、各キャンパスの情報システム課窓口やオープンパソコンルームにて利用者相談や障害対応にあたる学生スタッフです。2003年9月現在、衣笠101名、BKC83名が活躍しています。近年RAINBOW STAFFの活動の評価が高まり、学内での各種講習会の講師や各部課のホームページ作成、ビデオ撮影・編集、プログラム作成などの業務支援をはじめ、さまざまな活動を行っており、RAINBOW運用の一翼を担う存在として欠かせないものとなっています。また、学生が業務を通じて学び・成長することを可能とするインターンシップとしても機能しています。



### さまざまなプロジェクトにてSTAFFが活躍!

日々の利用者対応業務に加え、プロジェクトを組み活動しています。その一部をご紹介します。

#### 各部課ホームページ作成支援

ホームページ作成プロジェクト

RAINBOWのホームページ刷新をはじめ、各部課からの依頼を受けホームページ作成を行っています。現在は、学園ホームページの魅力あるコンテンツ作りに向け、企画・提案をおこなっています。

#### マルチメディアコンテンツ作成

AVプロジェクト

入学式や学園祭などの各種イベントの様態をビデオ撮影し、記録しています。また、その映像を編集し、学園ホームページから発信しています。



## ...COLUMN

### ▼ウィルスに注意!

現在、W32.Blaster.Wormやその亜種を含む多数のコンピュータウィルスがインターネット上で猛威を振るっています。これらのウィルスはWindowsOSの欠陥を利用するもので、適切な対処が必要です。この機会に所有・管理されている全てのWindowsパソコンについて、対処方法を確認いただき、未実施のパソコンは必ず対策を実施してください。

#### OSのセキュリティホールをふさぐ

多くのウィルスはWindowsの既知のセキュリティホールを利用してきます。OSのアップデートを定期的に行い、あらかじめセキュリティホールをふさぐことで、ウィルスを防ぐことができます。そのための修正ファイル(パッチ)はマイクロソフトのWebページより入手できます。必要な修正ファイルをダウンロードおよびインストールしてください。

#### ウィルスを駆除する

パソコンが感染しているかの確認と、感染していた場合の駆除のため専用のウィルス駆除ソフトを実行してください。以下のWebページよりダウンロードできます。

<http://www.nai.com/japan/security/stinger.asp>

#### アンチウィルスソフトをインストールする

ウィルスの感染からパソコンを守るため、パソコンには必ずアンチウィルスソフトをインストールしてください。ご自身で購入するか、情報システム課が提供しているアンチウィルスソフトを使用してください。以下のWebページより入手することができます。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/kic/kyokensys/rainbow/download/Virusscan.html>

#### アンチウィルスソフトのパターンファイルの自動更新設定を行う

アンチウィルスソフトをインストールしたら、ウィルス定義ファイルを自動的に更新するよう設定してください。古い定義ファイルでは、新しいウィルスに対応することはできません。

ウィルス対策で不明な点があれば、情報システム課までお問い合わせください。

## 学生ライブラリー・スタッフががんばっています!

図書館、修学館リサーチライブラリー、メディアセンター、メディアライブラリーでは、約70名の学生ライブラリー・スタッフが、それぞれ活躍しています。その一部をご紹介します。

### 図書館やデータベースの使い方、教えます!

総合情報センターでは、4月の新入生ガイダンスを皮切りに、RUNNERSの使い方ガイダンス、ゼミ単位でのガイダンス、さらには就職活動応援講座など、1年を通してさまざまなガイダンスをしています。今年からは、それらのガイダンスの講師や講師補助を、学生ライブラリー・スタッフが担うことになりました。

受講生の皆さんからは、「親しみやすかった」「自分たちと年齢に近いスタッフだったので、質問がしやすかった」と好評をいただいています。

### 「総合学習授業」の先生にもなりました!

今年6月から7月にかけて、京都市立衣笠中学校、草津市立玉川中学校の生徒8名を、総合学習授業の一環として受入する機会がありました。大学図書館ではどんなことが行われているかを知ってもらうために、三日間にわたってさまざまな業務を実習しました。実習では学生ライブラリー・スタッフが先生として指導にあたり、ホームページの作成や利用者対応などをおこないました。



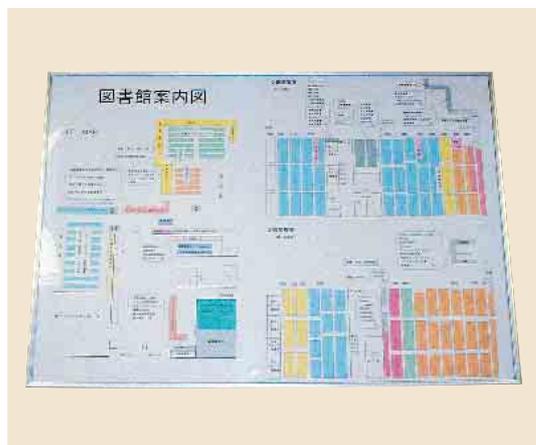
### 学生ライブラリー・スタッフからの提案

館内マップ・館内サインのリニューアル

「利用者にわかりやすい、シンプルなサインを!」を合言葉に、プロジェクトを立ち上げ、学生の視点から図書館内のサインの見直しをおこないました。図書館内のサインの現状を調査し、分析した上で、必要なサインを企画、作成するという手順で作業を進めてきました。その結果、

- 不要なサインを減らし、少なくともわかりやすいサインに統一すること
- 資料の配置が一目で分かるような、大きな案内図を作成すること

をテーマにして、館内サインを一新することができました。



この他にも、ガイダンスの広報活動やホームページ上での新着図書情報の紹介など、学生ライブラリー・スタッフの活動の場は、どんどんひろがっています。

## データベースの導入状況

### 図書館ではデータベースも利用できます

情報化が急速に進む社会にあつて、図書館では書籍などの資料収集や提供だけでなく、CD-ROM、オンラインデータベースなど電子メディアを充実することに積極的に取り組んできました。今後も電子ジャーナルを含む様々なデジタル情報の検索、収集、利用がスムーズに行えるよう電子図書館機能の強化をはかっていきます。

### コア・データベースで情報検索してみよう!

教育・研究活動に必要な基幹的なデータベースを「コア・データベース」とし、1999年度から無料で提供しています。学習・教育・研究活動への支援を充実していくため、毎年見直しをはかっています。

#### 2003年度新規導入コア・データベース

JDream	科学技術、医学に関する学術論文や解説の記事などの文献情報を検索するシステムです。「JOIS」のWeb版になります。
MAGAZINEPLUS	国内最大の雑誌・論文情報データベースです。個人研究室や自宅からRAINBOW経由でアクセスできます。

下記のコア・データベースも従来通り提供しています。

### 全文記事検索

#### 論文・雑誌記事検索

- ISI Web of Science** 論文間の引用情報を利用した学術情報検索システムです。1991年から最新のものまで、社会科学、自然科学、人文科学のデータを収録しています。
- NACIS-IR/ELS** 約50種類を超えるさまざまなデータベースが利用できます。関連する電子図書館サービスでは、著作権料金が無料の雑誌の全文記事が閲覧できます。
- Source OECD** OECD出版物と統計資料がオンラインで提供され、資料の全文や要約が閲覧できます。
- 日経BP記事検索サービス** 日経BP社が発行する雑誌のバックナンバーを対象にした検索ができます。
- 社会科学情報検索 (NEEDS-FAME Factory)** 国内マクロ経済、株式、企業財務、地域経済、銀行財務等が検索できるシステムです。
- ScienceDirect Online** 科学技術、医学に関する海外学術雑誌約150タイトルの論文が閲覧できます。
- lexis.com/Lexis Nexis Academic Universe** 世界各国の法令、判例文献を収録した海外法律情報「Lexis」や新聞・雑誌などを収録した記事情報「Nexis」などの総合学術研究情報データベースです。(メールによる利用申請が必要です。)
- ProQuest** 芸術から科学まで幅広い分野にわたる雑誌記事や論文の情報を入手できます。

#### 新聞記事検索

- 日経テレコン21** 日経4紙の新聞記事検索に加えて、企業・財務情報や国民総生産、株価指数などのデータも参照できます。
- 朝日Digital News Archives(DNA)** 朝日新聞(本紙、地方版)の前日までの新聞記事検索と「AERA」や「週刊朝日」の雑誌記事が検索できます。
- Dialog Select** 世界の新聞記事やニュース、自然科学、ビジネス、政治などの雑誌記事や学術論文についての目次情報が検索できます。新聞記事は全文収録ですが、学術論文は抄録が収録されています。

### 百科事典

- Japan Knowledge** 『日本大百科全書』や『現代用語の基礎知識』といった百科事典、辞書、用語集やデータなどが検索できます。

### コンテンツ情報

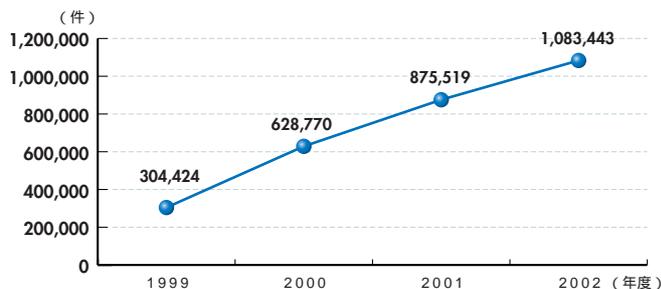
- 洋雑誌コンテンツデータベース** 外国雑誌の目次情報を提供しています。RUNNERS OPACとリンクしているので、雑誌の所蔵確認も可能です。
- 和書コンテンツデータベース** 1986年以降に刊行された和図書の目次や「おび」情報を集めたデータベースです。RUNNERS OPACとリンクしているので、所蔵検索も可能です。
- OCLC First Search** 人文社会、社会科学、新聞、雑誌など世界最大の書誌データベースです。

## データベース利用状況

### データベースの利用者は年々増加

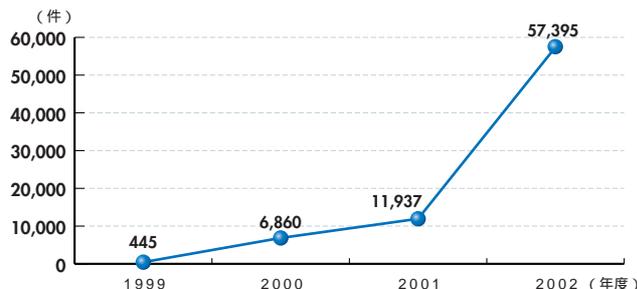
コア・データベースの全体の利用頻度は、着実に高まっています。中でも全文情報データベースの利用が増加しています。日経テレコン21は日経4紙や日経企業情報など関連コンテンツを利用できるという利便性と優位性をもつデータベースです。授業での利用やガイダンス開催によって利用頻度が高まり、導入当初と比較すると3倍強の伸びになっています。

日経テレコン21サーチ件数4ヵ年比較



ElsevierScienceDirectは、物理学、生命科学、社会科学に関する研究情報が論文のフルテキストで提供されているデータベースです。2002年度よりオンライン検索からオンライン検索へと検索方法が変更になりました。これにより、過去4年間の論文記事(最新の記事を含む)がほとんどタイムラグなく検索できるようになりました。2001年度と2002年度の検索件数を比較すると5倍にも増加しており、特に理工学部の利用が顕著になっています。

ElsevierScienceDirect21サーチ件数4ヵ年比較



注) 2001年度まではログイン回数、2002年度からは収録されているデータベースのサーチ回数。

### ...COLUMN

#### ▼ JdreamとMAGAZINEPLUSがコア・データベースに仲間入りしました!

##### Jdream

科学技術、医学に関する、学術論文や解説の記事などの文献情報を幅広く検索できる「JOIS」のWeb版です。初心者でも簡単に操作できるようにしたシステムを構築しました。キーワードや著者名、雑誌名などから検索します。また、ほとんどの論文には抄録がついているので、本文を読む前にある程度その論文の内容を知ることができます。

##### MAGAZINEPLUS

雑誌記事情報に加え、戦後国内の学術雑誌が刊行した人文社会系の年次研究報告書や学術論文集、論文タイトル情報を検索できる国内最大の雑誌・論文情報データベースです。記念論文集、一般論文集、シンポジウム・講演集、学会年報・研究報告、一般誌・総合誌・ビジネス誌、その他国内経済専門・業界誌も採録しています。また、本学の所蔵の有無を、一覧表示画面より確認することができます。

# データベース・ガイダンス実施状況

## 図書館ではいろいろなガイダンスを実施しています

衣笠では、利用者の自主性・集団的な学習研究活動をすすめ、情報リテラシー能力を高める契機としてガイダンスを実施しています。まず、2003年度より情報リテラシー科目に取り入れた新入生ガイダンス、資料検索セミナー、ステップアップセミナー、コア・データベース講習会、就職活動応援講座など、1年を通じて学部学生だけでなく、大学院生や教員に向けたさまざまなガイダンスを企画、実施しています。

### 衣笠キャンパスでのガイダンス

新入生ガイダンス	情報リテラシー科目
資料検索セミナー	RUNNERS、NACSIS-WebCATの利用ガイダンス
ステップアップセミナー	ゼミ単位でのガイダンス
コア・データベース講習会	コア・データベース利用ガイダンス
就職活動応援講座	図書館所蔵資料を利用した就職活動のための情報収集

BKCでは、毎年教学部門と連携しながら、経済・経営学部の新入生向けガイダンスを実施しています。ここではRUNNERS や新聞データベースの検索だけでなく、図書館利用についての説明も行っています。このガイダンスは2003年度に両学部の1回生基礎演習クラスにおける情報リテラシー科目の1コマとして実施しました。理工学部でも同様に、1回生クラスを対象にしたガイダンスをおこないました。その結果、11学科中9学科、30クラスで実施することができました。その他、自然科学系データベース利用ガイダンス、図書館ツアーと各種データベースガイダンスの開催、文献探索基礎講座やキャリアセンターと連携した就職支援図書館ガイダンスを実施しています。

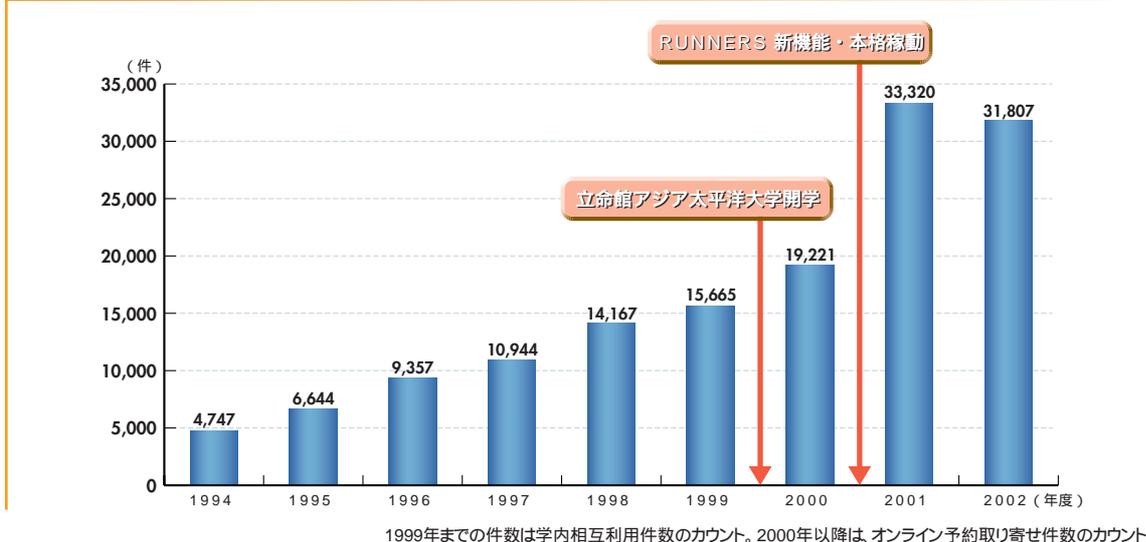
### BKCでのガイダンス

新入生向けガイダンス	情報リテラシー
データベース利用ガイダンス(自然科学系)	Dialog SelectやScience Direct Onlineの利用ガイダンス
図書館ツアー&データベース利用ガイダンス	館内案内と各種データベースの利用ガイダンス
文献探索基礎講座	NACSIS-WebCATなどの利用ガイダンス
就職支援図書館ガイダンス	図書館所蔵資料を利用した就職活動のための情報収集

## オンライン予約・取り寄せ 利用状況

2000年度より稼働している学術情報システム(RUNNERS)の新規機能として、利用者自身がインターネットを介してマルチキャンパス(衣笠・BKC・APU)下で資料の取り寄せと貸出中圖書の予約ができる機能を追加しています。2000年度当初は試験運用であったため、本格的に移働開始したのは2000年9月から、年度区切りですと2001年度からとなります。オンライン予約・取り寄せを開始する以前(1999年度)と2001年度との比較においては、2倍以上の件数増加となっております。

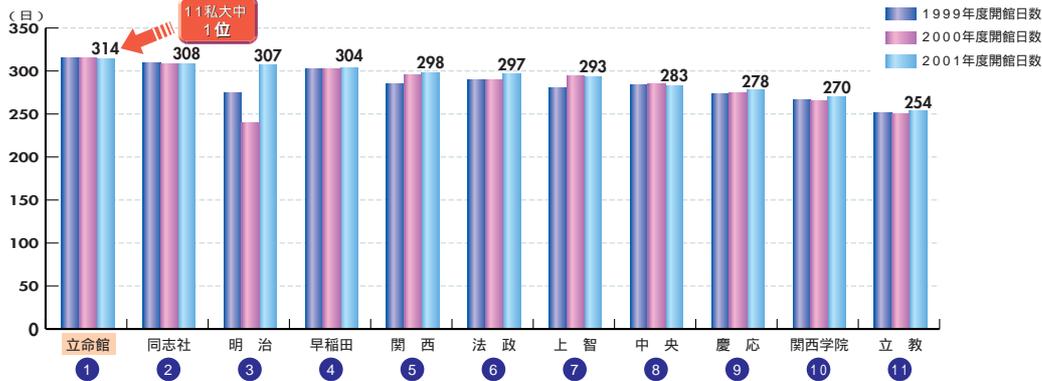
### 資料の予約・取り寄せ状況



## 本学学術情報施設の客観的状況

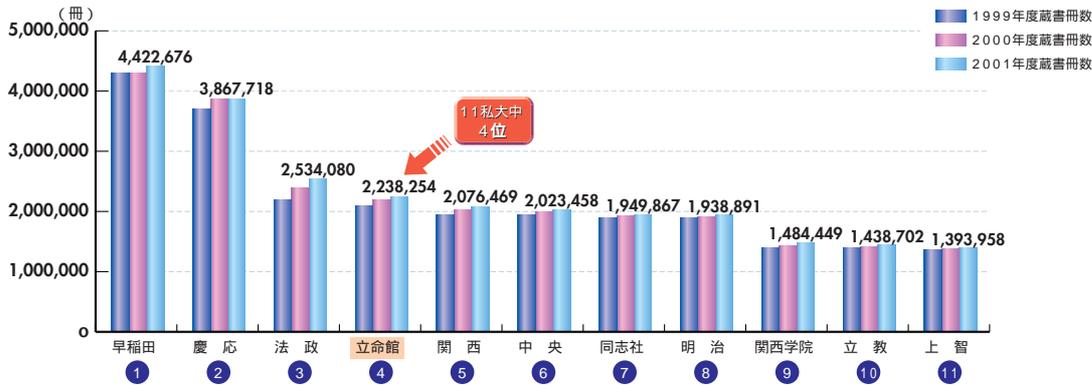
【社団法人日本私立大学連盟発行『大学図書館実態調査』(平成11年度版～平成13年度版)に基づく11私立大学調査による】

開館日数の経年推移



衣笠図書館の年間314日の開館日数は、11私大のトップとなっており、この位置は3年間変わっていません。また、図書館開館時間に関する全学的要請(1999年度全学協議会確認)を受けて、2000年11月からは閉館時間を午後9時30分から午後10時に変更し、30分間の開館時間延長を実施しました。さらに、2002年度には、開講中の月末作業日も開館する事により年間開館日数が330日となるなど、利用環境の充実に取り組んでいます。

蔵書冊数の経年推移



蔵書冊数においては、確実に増加を続けており、2000年度の立命館アジア太平洋大学開学とともに学園の資料規模は227万冊を超えています。11私大平均における1999年度から2001年度の蔵書冊数増加率は5%となっておりますが、本学の増加率は3%となっております。本学において、オンラインジャーナルやCD-ROMといった資料を積極的に導入していることのあらわれといえます。

学生一人あたりの貸出冊数



学生一人あたりの貸出冊数は11私大中5位となっています。2000年度までの本学の学生一人あたりの貸出冊数は9冊であったのに対し、2001年度11冊となっています。今後更に正課との連携を強め、学習・教育・研究の推進を可能にするような資料収集に努めます。

## メディアセンターに自動化書庫を導入します!!

メディアセンターは、2004年4月からメディアセンター地階に自動化書庫を導入します。既に、第一段階の改修工事を夏期休暇中に実施しました。11月以降に第二段階として機械設置工事を行っています。

### BKCは開設10周年

BKCは1994年4月に理工学部の拡充移転により開設され、1998年4月に経済・経営学部の移転によるBKC新展開を経て、開設10周年を迎えました。文理融合を中心とした教学展開等により、BKCの図書館施設では、メディアセンター（約25万冊）、メディアライブラリー（約35万冊）の2館で約60万冊の図書資料を所蔵することになりました。

### 自動化書庫の導入

自動化書庫は図書館システム（RUNNERS）と連動した書庫で、図書館システムの画面から要求入力することによって、図書資料は地階から1階のサービスカウンターへ自動搬送されます。したがって、目的の図書資料を取りに、利用者が地下へ移動する必要はありません。カウンターに行く前にあらかじめ図書館システムの画面から要求入力しておくことで、本を受け取るまでの待ち時間を短くすることができます。

### 飛躍的に高まる収容冊数

自動化書庫の収容能力は最大約35万冊です。2004年4月、情報理工学部が開設されるとともに、理工学部に電子情報デザイン学科、マイクロ機械システム工学科、建築都市デザイン学科が新設されます。新たな図書資料の増加にも対応すべく、メディアセンターでは、図書資料のリフレッシュと新たな蔵書構築を開始しました。自動化書庫の完成により、図書資料の収容能力は飛躍的に高まります。同時に、メディアライブラリーを含め将来的に増加する図書資料にも対応できることとなります。

## 衣笠図書館リニューアルオープンしました！

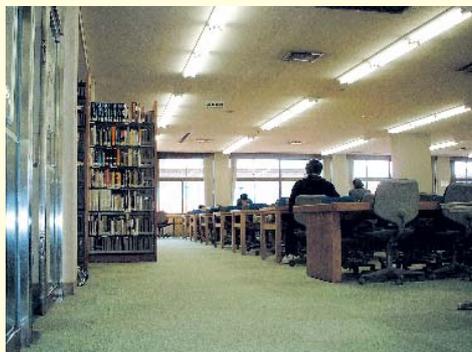
9月21日に、衣笠図書館をリニューアルオープンしました。利用者アンケートでご意見をいただく事の多かったところを重点的にリニューアルしています。

### 全館フロアカーペット

3階フロアは、今までピータイル床だったため、足音やブックトラックを動かす音が響いてしまい、静かな学習空間を提供できにくかったのですが、新たにモスグリーン色のカーペットを敷きました。1階、2階は張替えを行い、フロアごとに色調を変えて、おちついた雰囲気になりました。

### 利用者の声

明るい雰囲気になったと思います。  
音が響かないのがとてもうれしい。  
きれいになって気持ちがいいです。



### 什器類の刷新

空調機および、全館の椅子（1,700脚）を入れ替えました。  
椅子は、高さを調節することができるクッション性の高いものになっています。

### トイレの改修

全館トイレを改修しました。入り口と洗面台が男女別々になり、いっそう快適に利用できます。  
新しくなった衣笠図書館をどうぞご利用ください。